Pickup NEWS

Microsoft Developers Conference 2006、基調講演レポート
年内リリースを目指すWindows Vistaと次期Officeの進化を披露

マイクロソフトは2月2日と3日の両日、パシフィコ横浜において、開発者を対象にしたカンファレンス「Microsoft Developers Conference 2006」を開催した。

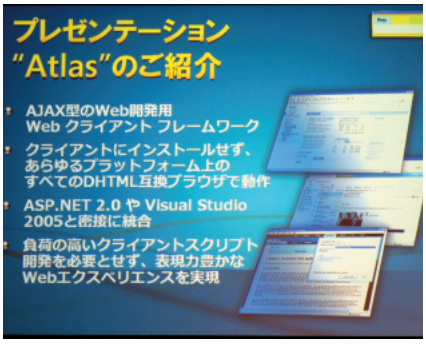
同イベントは、製品やプラットホームに大きな変革がある場合に随時開催されるもの。今回は「Windows Vista」や「Office 12」(開発コード名)といった新製品の年内リリースを控え、次世代製品の技術情報を提供してソフトウェアの開発を促進するために開催された(関連記事p.66)。

初日の基調講演には、米マイクロソフト デベロッパー&プラットフォーム コーポレートバイスプレジデントのサンジェイ・パササラシー、米マイクロソフト Windows クライアントプラットフォーム&ドキュメント チーム ゼネラルマネージャーのマイケル・ウォーレント、米マイクロソフト インフォメーションワーカービジネスグループ ゼネラルマネージャーの沼本 健の3氏が登場し、Windows VistaとOffice 12の最新テクノロジーを紹介した。

基調講演の冒頭でサンジェイ・パササラシー氏は、開発者の置かれている現状と今後について、「過去5～10年はインフラ整備の時代だったが、XMLとウェブサービスの成熟により開発者が最もエキサイトするときがやって来た」と述べ、次の時代はよりユーザーに焦点を当てた開発に移行すると指摘した。また、知的な可視化や3Dグラフィックによる表現、消費者向けウェブサービスの活用、XMLを使った結果指向のユーザーインターフェイスの実現などが主要な課題になってくるとして、Windows Vistaに搭載するテクノロジーの数々を紹介した。

続いて登場したマイケル・ウォーレント氏は、技術面についてさらに詳細に解説した。Windows Vistaのアーキテクチャーを図示したあと、ベースオペレーティングシステムサービスの開発における主要な課題として、セキュリティーとプライバシー保護の拡充、パフォーマンスの向上、コンポーネントベースのセットアップと展開による利便性の実現、再起動回数の削減と信頼性の向上を目指したという。Windows Vistaに搭載予定の機能を、実際にソフトを操作しながら紹介した。

最後に登場した沼本 健氏は、Office 12について解説。「Office 12では、これまでのOfficeからさらに進化して、“組織の垣根を越えた協業”“膨大な情報の中から必要なデータをすばやく発見”“より進化した作業環境の実現”“セキュリティー向上のための透明性の実現”をキーワードに、さまざまな新機能が実現されている」として、PowerPoint、Excel、Outlook、InfoPathなどを、デモを交えながら紹介した。



ウェブ開発で注目されているAjaxのフレームワーク「Atlas」を提供し、すぐれた開発環境であることをアピールする。

Windows Vistaに対応した新たな開発言語XAMLを使うと、リッチなウェブページが用意に開発できるようになる。

開発中の次期Office(Outlook)のデモ。各種データの表現機能が向上し、操作面も大きく変化するという。

Windows Vistaは、まもなくベータ2が登場し、今年後半に一般向けにリリースされる予定であると示された。

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

Google Desktop 3 ベータ版を公開
検索インデックス情報の共有により別の PC 上のデータ検索が可能に

Google は 2 月 9 日、1 月 30 日に発表した「Google Toolbar 4」続いて、デスクトップ検索ツールの最新版、「Google Desktop 3」のベータ版を発表した。

今回、新機能として「Search Across Computers」を追加。インデックス化したファイルを共有し、他の PC からもデスクトップ上のファイルを検索することが可能になった。利用するには、同一の Google アカウントを使い、あらかじめ複数の PC で Search Across Computers を有効にしておく必要がある。共有する際には、インデックス化されたファイルを一時的に Google に設置されている Google Desktop サーバーにコピーし、別の PC へと転送する。これにより、ある PC がオフライン状態の場合に、別の PC のインデックスが更新されても検索することができる。

サーバーに保存されているデータは、古いものから削除され、パスワードで保護されたファイル、暗号化された HTTPS ウェブページなどは検索および転送対象から除外されるように設定できる。

また、Google Toolbar 4.0 は Google サジェストと同様の入力候補表示に対応し、任意の検索サイトを追加できるようになったほか、オンラインブックマークなど多数の新機能が追加された。

http://desktop.google.com/

http://toolbar.google.com/

Search Across Computers の利用には、同一のアカウントでの設定が必要だ。

「Internet Explorer 7 Beta 2 Preview」の公開ベータテストが開始

米マイクロソフトは 1 月 31 日、「Internet Explorer 7 Beta 2 Preview」の公開ベータテストを開始した。同社サイトからダウンロードできる。Windows XP SP2 に対応し、日本語の表示も可能だ。

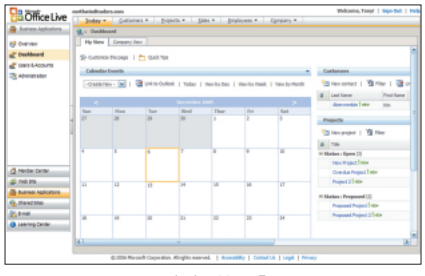
IE7 では、ユーザーエクスペリエンスの向上、安全で信頼できるブラウジング、強力なウェブ開発者プラットホームを実現することに目標に、タブブラウジング、RSS フィードの自動認識、URL パーシングなど各種の新機能が搭載されている。

Internet Explorer 7 Beta 2 Preview の画面

米マイクロソフト「Office Live」のベータサービスを開始

米マイクロソフトは 2 月 15 日、インターネットベースの中小企業向けソフトウェアサービス「Microsoft Office Live」のベータサービスを開始した。

同サービスは、電子メール、独自ドメイン、ウェブホスティングサービスなどが利用でき、無料の「Microsoft Office Live Basics」と、有料の「Microsoft Office Live Collaboration」「Microsoft Office Live Essentials」が提供されるが、ベータテストではすべて無料となっている。



カスタマイズが可能な「Dashboard」画面

Ajax に対応したケータイブラウザー ACCESS「NetFront」の最新版が登場

ACCESS は 2 月 13 日、同社が提供するインターネットブラウザーの最新版「NetFront Browser v3.4」を発表した。

新バージョンの NetFront では、次世代に向けたインターネットフルブラウジング機能の強化として、Ajax をはじめ、昨年 12 月にリリースされた SMIL 2.1 や、SVG Tiny 1.2 などを新たにサポートする。

新しいアプリケーションとして、ウェブページを視覚的に管理するサムネイル機能や、PC デスクトップのように表示できる「PagePilot」を追加した。

また、プラグインを使用することで PDF やオフィスドキュメント、Flash、ビデオなどのサポートも可能だ。ブラウザー API の拡張により、各種アプリケーションの作成も容易になった。

2006 年 3 月末から提供を開始する予定。

http://www.access.co.jp/

豪州産の検索エンジン「Mooter」が日本語版サービスをスタート

2 月 14 日、ムーター株式会社はウェブ検索エンジン「Mooter」の日本語版サービスを開始した。

Mooter は、オーストラリア MooterMedia 社が開発した検索技術を日本語に対応させたもので、検索結果をテーマ別に仕分けして表示し、ユーザーはそれらの情報を絞り込みの支援にすることで、結果的に少ないクリック数で、求める情報にたどり着けるようになる。

http://www.mooter.co.jp/

テーマ別に仕分けされた検索結果は、星型（Star Burst）に表示させることもできる。

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

ニンテンドーDSカンファレンス開催
ウェブブラウズとワンセグ放送に対応

任天堂は、2月15日に行われたニンテンドーDSカンファレンスにおいて、ニンテンドーDS向けのウェブブラウザーとワンセグ放送受信カードを発表した。

「ニンテンドーDSブラウザー(仮)」は、任天堂とOperaが共同開発。DS独自の機能を追加したものになっており、ウェブブラウザーを搭載したDS専用カードと、メモリー拡張カートリッジを接続することで、ウェブブラウジングが可能になる。また、ジャストシステムのATOKを搭載し、手書き文字入力の予測変換が可能だ。6月からオンライン販売を開始する予定で、価格は3800円となる見込み。

「DSデジタル放送受信カード(仮称)」は、アンテナを備えたカードを接続することでワンセグ放送を受信し、下側のディスプレイでチャンネル選択などの操作を行う。発売は年内を予定している。

秋葉原で「GLOBAL IP BUSINESS EXCHANGE 2006」開催
IPv6関連のベンダーが出展し製品やサービスを紹介

IPv6中心のカンファレンスと展示を行う「GLOBAL IP BUSINESS EXCHANGE 2006」が、秋葉原コンベンションホールで2月15日から16日まで開催された。

カンファレンスでは、竹中平蔵総務大臣によるオープニングを皮切りに、NTT Comの野村雅行代表取締役副社長やマイクロソフトの及川卓也ウィンドウズ開発統括部ウィンドウズプラットフォームグループマネージャ、YOZANの小松宏輔氏らの講演が行われた。

展示会場では、IPv6に注力する各ベンダーが製品やサービスの紹介を行った。個人向けのIPv6サービスを実施するNTTコミュニケーションズは、発表されたばかりの新サービス「OCN IPv6モバイル」のデモを行い、ケータイから自宅のIPv6ネットワークに簡単にアクセスできる利便性を強くアピールした。

「IPv6へ完全に対応することがWindows Vistaのベーシックな方針」と語るMSの及川卓也氏。

NTT ComはOCN IPv6を使ったデモを行い、コンシューマーに対してのIPv6の便利な利用法を提案していた。

IPv6と電子タグによって周囲の環境を認識し自律動作
NTTコミュニケーションズとテムザックが買い物補助ロボットを実証実験

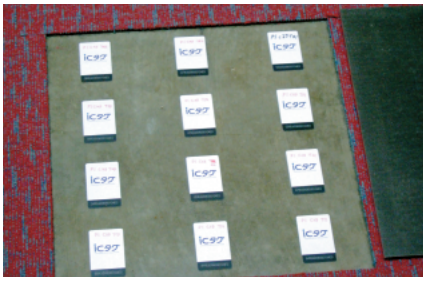
2月9日～15日にかけて、福岡県にある大型ショッピングセンター「ダイヤモンドシティ・ルクル」において、電子タグとIPv6を利用したサービスロボットの実証実験が行われた。この実験は、経済産業省情報経済課が実施している「平成17年度電子タグ実証実験事業」の一環として行われているもので、電子タグ、IPv6ネットワーク、ロボットの連携によるサービスの可能性を検証するためのものだ。主にロボットを株式会社テムザックが、ネットワークと電子タグに関する部分をNTTコミュニケーションズ株式会社が担当して、共同開発を行った。

実験の目的は、1)IPv6ネットワークに体操した電子タグの利活用方法の検証、2)日常生活の支援におけるサービスロボットの有用性、電子タグの位置情報を活用したサービスロボットの低廉化および汎用化の可能性の検証、という2点。概要を端的に説明すると、お年寄りや体の不自由な人の買い物を補助するロボットの実現のために、どのような課題があるかを探るものだ。

開発されたロボットは、ショッピングセンターで買い物客に同行してサポートするショッピング同行ロボット「T12-1(クル)」、遠隔地からカメラの映像を元にロボットを操作してショッピングの気分を味わえる遠隔ショッピング支援ロボット「T12-2(ルク)」の2台。

IPv6を利用することで、ロボットとデータセンター、そして遠隔地から操作するユーザーというセキュリティレベルがことなる複数のネットワークの共存が簡単になるという。

ショッピングセンターで一般の買い物客の中でロボットの運用実験を行った。



床下に電子タグ(RFID)を敷設して、これをもとにロボットが自分の位置を判断する。

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

RSSソリューションを提供する米NewsGator社が日本進出

日本では企業向けにターゲットを絞り込んだ事業を展開

エンタープライズ向けのRSSリーダーや専用サーバーを提供する米NewsGator Technologies社（以下NewsGator）が、日本での展開に向けて動き出すという。同社エグゼクティブバイスプレジデントのA.V.ハミルトンIII氏に、日本市場の可能性について聞いた――。

「日本での展開は、現地法人は作らずにパートナーシップ経由で行おうと考えており、提携先を探しているところです。中堅クラスの企業に向けたサービス、大手企業向けのエンタープライズシステム、メディア企業向けのビジネスソリューションという3つのセグメントで展開してきます。中堅企業はASPベースのホスティングソリューションで、大企業はライセンスベースのソフトウェア販売やライセンスによるビジネスになります。

米国ではコンシューマ市場向けの製品も出していますが、日本でのターゲットは企業に絞り込んでいます。なぜかというと、日本のコンシューマ市場には、無料のサービスやツールが多いからです。

NewsGatorの製品は、RSSアグリゲーターと、それを管理するサーバーなどです。RSSを使った情報収集は、多くの企業が注目していますが、一方で個々のユーザーが勝手に使い出すと管理がしにくいものです。また、ネットワークトラフィックにも影響が出るでしょう。NewsGatorの認証システムや管理ツールを使うことで、それらの問題を解決できます。社員に読ませたい役立つものや、逆に読ませたくないものの管理／監視もできます。

RSSを生成するための製品は用意していませんが、すでにネット上には多くのRSSがあります。社内にブログを導入してもよいでしょう。NewsGatorはコンテンツ管理のための製品だと考えています。

NewsGatorは、米国市場のこの分野ではトップのシェアです。日本でも、ブログの普及は目覚ましいものがあり、数も非常に多いです。現在日本は、RSSフィード数の成長率が最も高いので、需要もあると期待しています」

http://www.newsgator.com/

A.V.“サンディー”ハミルトンIII氏

メッシュ型無線LANシステムのトップベンダー米Strix社

802.11j製品の投入を足がかりに日本の無線市場へ注力

メッシュ型無線LANシステムのベンダー米Strix Systems社は、今年1月に業界初となるIEEE 802.11j対応製品を日本市場へ投入した。メッシュ技術の最新動向と日本での販売戦略について、同社のマーケティング・バイスプレジデントであるナン・チェン氏に聞いた――。

「われわれが考えている市場は、北米、欧州、中国、日本、南アジアなどで、支店や現地の代理店と進めていこうと考えています。メッシュネットワークの世界市場は、2つの調査機関によると、2005年のマーケットから5年後には10倍に、また、2005年には35億円程度だったものが5年後には1000億円以上の市場になるという予測が出ています。日本でも、工場や倉庫などでは需要があると思いますし、配線工事に比べて半額ぐらいで済みます。

日本市場に向けては、新たに11jの製品を投入します。日本では屋外で11aが使えませんが、海外では11gサービスのバックボーンとして11aを使っています。日本では代わりに11jを使って、海外と同等のネットワーク形態を実現できます。また、Wi-Fiよりもパワーが強いので、エリアを広げることもできますし、何よりも、11jで使う4.9GHz帯は干渉が非常に少ないというメリットがあります。4.9G帯を使うには総務省への手続きが必要ですが、ケータイほど難しくはありません。無線の資格を持っている人なら申請すれば通るので、事業社でも使える範囲です。

注目されているWiMAXも、競合とは考えていません。自社の製品にWiMAX用のモジュールを追加して、WiMAXメッシュのバックボーンを組むというアイデアもあります。ただし、WiMAXではライセンス周波数がポイントになります。限られた事業者しか使えないとなると、多くの企業ユーザーは自分のネットワークが構築できません。また、インテルが2007年か2008年にPCに入れたとしても、すべての端末がWiMAXになることはないでしょうし、最終的にはWi-FiとWiMAXは共存していくと思います」

http://www.strixsystems.com/

ナン・チェン氏

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

「固定と携帯の融合」の現状と課題 ユーザーが喜ぶような具体的なサービスの登場が鍵

FMC（固定と携帯の融合）が聞かれて久しいが、いまだ決め手となるサービスはない。果たしてFMCは、新しいサービスや産業を確立できるのだろうか。東京大学助教授工学博士でFMCフォーラム実行委員長も務める森川博之氏に、FMCの現状と課題について聞いた――。

「現在、FMCに関するテーマは、サービス、政策、そして無線の3つです。サービスの部分が最も気になるところですが、まだ具体的なサービス像は示していません。FMCというのは、「有線だけ」「モバイルだけ」では厳しいから、融合させて囲い込もうというネガティブな発想から出てきたものです。ですから、FMCで誰が喜ぶのか、実はよく見えていません。だからこそ、FMCの将来はサービスにかかっているといえます。政策については、まだ議論の途中ですし、無線についても決め手がありませんが、技術的には何を使っても大きな違いはありません。ケータイが家で固定の代わりになるというものがありますが、それだけだと正直面白いとはいえません。その先の何かを考えなければなりませんし、私としては、FMCはユビキタス環境に向けた最初のステップだと捉えています。家の中ではなく、外で個人が使う端末を「情報個電」と呼んで研究していますが、バッテリーが課題の1つですね」

森川 博之氏

AFPのニュース記事を引用できるブログサイト「Actiblog」が開始

AFP通信社、MOVIDA ENTERTAINMENT、クリエイティヴ・リンクの3社は2月4日、読者からの情報発信を可能にしたニュースコミュニティーサイト「AFP BB News」を共同で開設し、AFPが提供するニュースを引用できるブログ「Actiblog」も開始したと発表した。

発表によると、AFPではAFP BB Newsに世界165か国で取材した時事ニュースを写真付きで提供し、Actiblogでは、これらの記事を引用したブログの記事を書ける。またActiblogでは、一般ユーザーのブログのほかに「オフィシャルブログ」のページも用意。さまざまな分野で活躍するブロガーの記事も掲載する。

Actiblogの利用料は無料。利用するにはログインページでユーザー登録をし、アカウントを取得する必要がある。

http://www.actiblog.com/

日本テレビ、ニュースをネット配信 第2日本テレビで番組丸ごと視聴可能に

日本テレビは2月6日、同社が放送するニュース番組「ニュースプラス1」の無料ネット配信を開始した。番組はVOD事業を展開する第2日本テレビ、公式サイトや日テレNEWS24で試聴できる。

配信対象となるのは、月曜～金曜に全国ネットで放送される同番組の約27分間（17:50～18:17）で、全国放送枠を丸ごとを配信する。番組は権利処理を済ませた後、毎日20時頃にその日の最新ニュースがアップロードされる。見逃したニュースをいつでもどこでも、24時間好きなときに見られるのが売りだ。

また、番組では動画配信のほか、放送終了後に番組に出演するキャスターが、その日のニュースの話題や制作現場の裏側などを紹介する「映像ブログ」を公開している。

http://www.ntv.co.jp/dai2ntv/

リクルートとオーバーチュアが連携 「R25式モバイル」で検索連動型広告

リクルートが運営する「R25式モバイル」は、25歳以上を読者対象としたモバイル向けの無料サービスで、検索エンジン、ニュース、スポーツ情報、そのほかさまざまなコンテンツを提供する。

オーバーチュアの検索連動型広告「スポンサードサーチ」は、検索結果に関連した広告が自動で表示される。今回、R25式モバイルでの表示を開始したことにより、「R25式検索結果画面」「ニュース速報画面」「乗換案内検索結果画面」において広告が表示されるようになった。

R25式モバイルは、ユニークユーザー数65万人以上／月、検索回数でも月間250万を超える高い実績を誇り、検索連動型広告への要望も高かったという。そこで、検索連動型広告において実績のあるスポンサードサーチを選択したという。

http://R25.jp/

22万種類の不正プログラムに対応 ジャングル「SGアンチスパイ2」発売

ジャングルは、2月16日に同社のスパイウェア対策ソフトの最新版、「SGアンチスパイ2」を発売した。

SGアンチスパイは、国内初のリサーチセンターの設置により、他社製品では発見できない、日本を狙ったスパイウェアに対しても高い検出結果を誇る。他社のウイルス対策ソフトとの併用も可能だ。

また、新機能としてステルス型や、駆除後に自動修復するスパイウェアにも対応。リアルタイムにレジストリを保護することで、レジストリを書き換えるスパイウェアにも対応する。

価格は1ユーザー6,090円（税込）。ウェブフィルタリングソフト「i-フィルター4」と個人情報管理ソフト「InfoKeeper」を同梱した個人情報保護パックも同時に発売した。

http://www.junglejapan.com/

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

エフアンドエム、ビジネス支援サイト「タックスハウスWebビレッジ」を開設

エフアンドエムが運営するビジネス支援サイトのタックスハウスは、税務、財務などビジネスに役立つさまざまなBtoBサイトが集まった、業務に関する悩み相談や情報交換ができるウェブサービスで、2月1日に新しくWebビレッジを開設した。

Webビレッジは、過去に取得した見積書を公開し、リフォームやLAN工事の価格相場などを情報交換できる「総務の相場ドットコム」。業務ソフトのアウトレットサイトで、売れ残りなどの処分したいソフトを持つ会社と安く買いたいユーザーを結ぶ「ソフトタンク.jp」。誕生日、結婚記念日などを指定し、自動でイラスト付きメールを送信してくれる「フラワーメッセージ.jp」。ビデオポッドキャストでビジネス教育コンテンツを配信する「Tax-House大学」の4サイトを含む。

http://www.taxhouse.jp/

CPIのレンタルサーバーサービス コンビニ決済での後払いに対応

レンタルサーバー事業社のCPIは、同社の高機能ショッピングカートプログラム、「ストアカート」にネットプロテクションズが提供する決済「NP後払いサービス」を導入した。

NP後払いサービスは、商品到着後の後払いに対応した決済サービスで、この導入によって、従来の銀行振り込み、郵便振替などの決済に加え、商品到着後のコンビニ決済が可能となった。

また、同サービスでは代金の回収状況によらずショップオーナーへ最短5営業日で入金されるので、代金未回収のリスクがないといった特徴がある。そのほかにも、入金確認が不要で素早い商品出荷が可能、初期導入費・月額固定費が不要、後払いによる顧客利便性やショップの信頼性が向上するなどのメリットがある。

http://www.cpi.ad.jp/

アジターソフトウェアが日本法人設立「Agitator」の日本市場拡大を目指す

Javaプログラム用のテスト自動化ツール「Agitator」を提供する米アジターソフトウェアは、日本法人であるアジターソフトウェアジャパンを1月23日に設立し、営業を開始した。

Agitatorは、Eclipseを代表とする主要IDE（統合開発環境）のプラグインで提供される。その特徴は、バイコードを解析して自動的に必要なデータを生成し、テスト対象となる各メソッドを呼び出して開発者テストの自動化を行える点だ。

同社の社長に就任したのは、コンパック、ラショナル・ソフトウェアなどを含め、IT業界で30年以上の実績を持つ津吹辰彦氏。世界各国で採用されているAgitator。日本でも代理店を通して25社の採用実績があるが、今年度中に25社から100社にまでに拡大するという。

http://www.agitar.com/

Event Calendar

これから開催される国内外の主要なIT関連イベントをご紹介。
イベント情報掲載希望の方は、次のメールアドレスまでご連絡ください。
im-release@impress.co.jp

期日	名称	場所	URL
3/1-3/3	Oracle OpenWorld Tokyo 2006	東京国際フォーラム	http://www.oracleopenworld.jp/
3/6-3/9	O'Reilly Emerging Technology Conference	サンディエゴ（米国）	http://conferences.oreillynet.com/et2006/
3/7-3/10	SECURITY SHOW 2006	東京ビッグサイト	http://www.shopbiz.jp/pages/t_index.phtml?PID=0003&TCD=SS
3/9-3/15	CeBIT	ハノーバー（ドイツ）	http://www.cebit.de/
3/15-3/16	第5回ケータイ国際フォーラム	京都パルスプラザ	http://www.itbazaar-kyoto.com/forum/
3/20-3/22	Microsoft MIX06	ラスベガス（米国）	http://www.mix06.com/
4/3-4/6	LinuxWorld Conference & Expo 2006	ボストン（米国）	http://www.linuxworldexpo.com/live/12/events/12BOS06A
4/4-4/6	IEEE Wireless Communications and Networking Conference	ラスベガス（米国）	http://www.ieee-wcnc.org/
4/5-4/7	CTIA WIRELESS 2006	ラスベガス（米国）	http://www.ctiawireless.com/
4/20-4/21	Search Engine Strategies 2006 Conference & Expo Japan	東京ファッションタウン	http://www.idg.co.jp/expo/ses/
4/22-4/27	NAB	ラスベガス（米国）	http://www.nabshow.com/
4/23-4/25	2006 IEEE International Conference On Networking, Sensing and Control	フロリダ（米国）	http://www.ieeeicnsc.org/
4/23-4/29	25th IEEE International Conference on Computer Communication	バルセロナ（スペイン）	http://www.ieee-infocom.org/
4/27-4/28	Wireless Technology Park 2006	パシフィコ横浜	http://www.wt-park.com/
5/10-5/12	E3（Electronic Entertainment Expo 2006）	ロサンゼルス（米国）	http://www.e3expo.com/
5/10-5/13	EXPO COMM WIRELESS KOREA 2006	ソウル（韓国）	http://www.expocomm.com/wirelesskorea/
5/11-5/12	Grid World 2006	東京国際フォーラム	http://www.idg.co.jp/expo/grid/
5/15-5/18	Broadband World Forum Asia 2006	香港（中国）	http://www.gii.co.jp/conference/bwfa2006/
5/16-19	2006 JavaOne conference	サンフランシスコ（米国）	http://java.sun.com/javaone/sf/

※上記の情報は変更になる場合があります。応募・参加の際には必ず主催者にお確かめください。

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

［インターネットマガジン　バックナンバーアーカイブ］ ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D（株式会社インプレスから分割）が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン　バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

http://i.impressRD.jp/bn

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレス R&D）、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D（当時は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先
株式会社インプレスR&D
All-in-One INTERNET magazine 編集部
im-info@impress.co.jp

Copyright © 1994-2007 Impress R&D, an Impress Group company. All rights reserved.